

開講年度	令和 7 年度		開講課程	博士課程
授業名	社会医学特別演習 I			
開講キャンパス	紀三井寺	教室	各研究室	
科目区分	特別科目	配当年次	1 ～ 2 年次	
必修・選択の別	選択	単位	2 単位	
対象学生	－	使用言語	日本語	
キーワード	(法医学) 法医損傷論 (環境保健予防医学) 生活習慣病の予防 (臨床感染制御学) 細菌感染症、真菌感染症、ウイルス感染症、抗微生物薬、遺伝子診断、薬剤耐性菌 (成育社会医学) こども、健康			
担当教員 (下線：科目責任者)	医	(法医学) 教授 近藤稔和、准教授 石田裕子、講師 野坂みずほ、講師 石上安希子 (環境保健予防医学) 教授 藤吉 朗、准教授 東山 綾、助教 竹村重輝 (臨床感染制御学) 教授 小泉祐介 (成育社会医学) 准教授 北野尚美		
	薬			
授業の概要	法医学、環境保健予防医学、臨床感染制御学、成育社会医学の各分野において講義及び演習を行う。本演習では、各分野における主要テーマについて文献を読み、教員と議論することにより知識を深める。また、分析疫学的手法などの社会医学における研究手法を理解し、研究技能の向上を目指す。			
到達目標	(法医学) 損傷の分類、成傷機転を理解する。 (環境保健予防医学) ①生活習慣病（循環器疾患や認知症を含む）の一次予防に関する最新の知見を理解し、説明できる。 ②統計ソフトの基本的な操作ができる。 ③人を対象とした研究の倫理的側面を理解する。 (臨床感染制御学) 臨床感染症学（感染症の病態・疫学・診断・治療）について最新の文献を基に知識を修得し、主体的に学んで理解を深める。 (成育社会医学) 子どもの健康の主要テーマに関わる先行研究調査の進め方を修得し、先行研究について批判的吟味ができるようになる。			

授業計画	（法医学） 法医学の損傷に関する最新の文献を読み発表する。（近藤稔和／石田裕子／野坂みずほ／石上安希子） （環境保健予防医学） ①生活習慣病の予防に関する特定のトピックを選択し、それに関する知見の収集・整理を行い発表する。②統計ソフトの基本操作演習を行う。③「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を学ぶ。（藤吉 朗／東山 綾／竹村重輝） （臨床感染制御学） 臨床感染症学（感染症の病態・疫学・診断・治療）に関する概説的な講義を行う。（小泉祐介） （成育社会医学） 子どもの健康の主要テーマに関わる先行研究調査の進め方をセミナー形式で演習する。収集した論文の批判的吟味と知見のレビューをセミナー形式で演習する。（北野尚美）
授業の方法・形態	演習を中心とする。
使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。
成績評価の基準	研究への取組100%（討議内容、ディスカッションへの参加姿勢、研究技能の修得状況、発表内容など）によりS（90点以上）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（59点以下）の5段階で評価し、C以上を合格とする。
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。
オフィスアワー（学生からの質問事項等への対応）	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。
教科書・参考書	（法医学） 【教科書】特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。 【参考書】「死体検案ハンドブック」 著者：近藤稔和ら 出版社：金芳堂 「検死ハンドブック」 著者：高津光洋 出版社：南山堂 「標準法医学」 著者：池田典昭 出版社：医学書院 （環境保健予防医学） 別途指示する。 （臨床感染制御学） 【教科書】「Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases, 9th edition」 著者：John E. Bennettら 出版社：Elsevier 【参考書】「Clinical Microbiology Reviews」 出版社：American Society of Microbiology Press （成育社会医学） 【参考書】「研究の育て方：ゴールとプロセスの「見える化」」 著者：近藤克則 出版社：医学書院 「研究道 学的探求の道案内」 監修：平岡公一ら 出版社：東信堂